

2017年度実施「学生による授業評価アンケート」自由記述欄の意見・質問等への回答
(人間福祉学科)

自由記述で寄せられた意見	学科からの回答
他にもジェンダーに関する講義を多く開設してほしい。	社会福祉専攻では「ジェンダー論」という科目を開講していますが、「社会学概論Ⅱ」でもジェンダー論の基本を学びます。また、専門科目には、セクシュアル・マイノリティのテーマも扱った科目や、共通科目には「フェミニズム思想」や「女性と歴史」「女性と文化」「女性学」などが開講されています。シラバス等を参照してください。
必修科目が5限なのが嫌。	本学では、時間割編成の方針上、5限、6限は資格関連の科目を開講することが原則となっています。社会福祉専攻では選択必修科目の一部が5限に開講されていますが、これは国家資格関連の科目にもなっています。また「選択必修」ですので、1限～4限の他の選択必修科目を選択することをお勧めします。
これが“大学で学ぶ講義なのか”を疑った。中高生レベルの授業はよそでやってほしい。	「中高生レベルの授業」という文言からは、どのような講義内容のレベルなのか判断できませんが、各教員によって講義の進め方や各回の学習目標には違いがあります。カリキュラム上の教育目標と講義内容およびシラバスとの整合性、そして学生の反応や理解度を確認するよう、教員間であらためて周知していきたいと思います。
毎回60分だけ集中して教えて、残りの30分は先生が早目に帰ったりするのがあります。1コマの配分を考えて授業をしてほしいなと思います。	当然のことながら、大学教育では90分間の講義を1コマとして行うことが規程で定められています。規程に則った授業時間数とコマ数を実施するよう、教員間であらためて周知していきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・開始から15分経っても先生が来ない場合は休講にしてほしい。 ・先生が30分以上も遅れてくる授業がある。待たされて迷惑。 	当然のことながら、大学教育では90分間の講義を1コマとして行うことが規程で定められています。講義を遅延なく行い、規程に則った授業時間数を確保するよう、教員間であらためて周知していきたいと思います。
●●先生の講義が教科書など使わなくて意味がわからない。	本学では、シラバスにおいて「テキスト・参考文献・資料など」を明記し、学生に周知するよう定めています。実際の講義の進め方と各回の学習目標に応じて、テキスト等が適切に使用されているのかどうか、教員間で周知していきたいと思います。
●●先生に授業持ってほしくありません。自分の話しかしないから授業料のムダです。今後改善してほしいです。	「自分の話しかしない」という文言だけでは、どのような内容なのか把握できませんが、各教員によって講義の進め方やその意図には違いがあります。教員の経験や個人的な話が、シラバスの講義計画や到達目標とどのように関連性があるのか、学生の反応・理解を確認しながら進めることを教員間で周知していきたいと思います。
授業を受けて感じた自分の考えをリアクションペーパーに書いたら、人格否定ともとれるような言葉を言われた。1つの意見として受け取ってほしかった。講師の人たちは、たまにこういうところがあるので、不快になることがある。	「人格否定」ということがどのような内容なのか、この文言だけでは把握できませんが、教員の価値観を一方的に押しつけるような観念的なコメントではなく、教育上の到達目標と関連させながら合理的、論理的な観点からコメントしつつ、受講生全体の「学び」として共有できるよう、教員間で周知していきたいと思います。
公欠届の書類を出しても、認める先生と認めない先生がいるのは困る(書類をつくってもらったり、作る過程で色々してることの意味がなくなる)	「公欠」に関する取り扱いは学部履修規程(第21条4項)で明確に定められていますが、専任および非常勤教員で共通理解を今後も徹底していきます。

<p>補講のない授業もあるが、必ずやらなければいけないと思う。こちらも授業料を支払っているのに、補講しないのは納得いかない。改善してほしい。</p>	<p>本学では、各科目の授業計画(講義内容や到達目標)ならびに講義時間数とコマ数は、規程およびシラバス等で明確に定められています。よって、授業計画や講義時間数に不足が生じた場合は補講を実施しなければなりません。授業計画ならびに補講について、教員間であらためて周知していきたいと思います。</p>
<p>・補講の連絡を早くしてほしい。 ・休講連絡、試験の教室変更のメールを送らない先生がいて困っている学生がいた。連絡をしてほしい。</p>	<p>補講、休講、試験の教室変更について、教員が各学生にメールを送ることはあまりありませんが、教員は速やかに学務課に届け出て、学内掲示板およびポータルでお知らせしなければなりません。できるだけ早めに届け出るように教員間で周知をしていきますが、事情によっては当日急に決まってしまうこともあります。学生はその点も理解した上で、こまめにポータルをチェックするように心がけてください。</p>
<p>出席表だけ書いて退出する人をどうにかしてほしい。</p>	<p>大学の講義は受講生が100名を超えるクラスもあり、担当教員が一人でチェックすることが難しい状況もあります。今後は、TA・SAやリアクションペーパーを活用するなど、受講生の講義への取り組みを加味した出席点検の工夫を行うよう、教員間で周知していきたいと思います。</p>
<p>・周囲がうるさい。(教員が全く対処できてない。) ・遅刻する人に対して、何か手段をお願いしたいです。</p>	<p>「私語に対しては注意する」という共通理解を、専任および非常勤教員の間で徹底していきます。 また、遅刻者に対しても対応を心がけるよう、教員間で周知していきたいと思います。</p>
<p>グループディスカッションがある授業は、階段教室ではない教室で学習した方がやりやすいと思いました。</p>	<p>本学では講義形態に応じて適切な教室に配置できるよう心がけていますが、残念ながら教室の数に限りがあり、適切な配置ができないケースもあります。講義形態と教室配置がマッチングできなかった場合でも効果的な学習が行えるよう、その創意工夫について教員間で周知していきたいと思います。</p>
<p>マイクの長さが足りないのか、大きい部屋で、板書をしながら事後で話すことをやめてほしい。聞こえない。</p>	<p>教員のマイクの使用法や声量、さらに板書の際の話し方などは、学生各自の講義への取り組みや習熟度にも関わります。また、本学には聴覚に障がいをもつ学生もいますので、合理的な配慮が必要とされます。これらの点について、教員間で周知していきたいと思います。</p>
<p>学科用やゼミ用、学年ごとの専用スペースがほしい。</p>	<p>学内スペースの関係上、学年ごと、ゼミ用の専用スペースを確保することは困難ですが、人間福祉学科の学生スペースが5号館4階にありますので、有効に活用してください。</p>
<p>車椅子席をもっと増やしてくれるとありがたいです。</p>	<p>本学は車椅子を使用する学生に対し、合理的配慮を行っていく方針を立てています。各教室に車椅子用の席を増やしていけるよう、福祉・ボランティア支援室を介して働きかけていきたいと考えています。</p>
<p>「前にプリントを取りに来て」という先生方が多い。車椅子利用学生は下まで行けません(階段教室)。周りの学生の手助けも有難いですが、配布の仕方の配慮をするべきだと思います。</p>	<p>本学は車椅子を使用する学生に対し、合理的配慮を行っていく方針を立てています。プリントの配布の仕方についても配慮するよう、教員間で周知していきたいと思います。</p>

<p>・身体障がいの方だけではなく、その他の障がいを抱える方の相談できる場所の設置と支援環境を整えて欲しい。</p> <p>・精神疾患、発達障害の方への支援が不足、改善して欲しい。合理的配慮への対応など検討して下さい。</p>	<p>本学は、学生が何らかの障がいを抱えることによって履修上の不利益が生じないように、合理的な配慮を行なっていく方針を立てています。福祉・ボランティア支援室やキャンパス相談室など徐々に支援環境は整いつつありますが、関係体制や各教員・職員の周知度にまだ差があります。今後も合理的配慮に関する周知徹底を行い、支援環境をさらに拡充していけるよう働きかけていきたいと思ひます。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------